

第6回 瀬田川地域安全協議会 議事概要

日時：令和4年5月24日（火）10:00～11:30

場所：大津市役所新館7階 大会議室

【出席者】

佐藤 大津市長、岩永 甲賀市長、伊吹 滋賀県流域政策局長、
藤田 滋賀県防災危機管理監、岸田 滋賀県大津土木事務所長、
奥山 滋賀県甲賀土木事務所長、大溝 彦根地方気象台長、
谷口 大戸川ダム工事事務所長、矢野 琵琶湖河川事務所長

【議事次第】

1. 開会
2. 昨年度の協議会の振り返り
3. 取組方針の見直しについて
4. 構成機関による主な取組内容について
5. その他情報提供
6. 閉会

【主な発言】

議事2. 昨年度の協議会の振り返り

議事3. 取組方針の見直しについて

●取組方針の見直しについて

<大津市>

- ・ 取組番号56において、「解析の結果、対策不要と判明したため、削除」とある。現時点では解析の結果、対策不要としていると思うが、10年後、20年後、その時の状況によって、解析を行うのか。これからの取組の方向性を教えて欲しい。

<大津土木事務所>

- ・ 解析の結果、対策不要としているが、維持管理や河川巡視はしっかり行う。長期のスパンについては現時点では回答できないが、変状等があれば対応し、その都度解析を実施する。

<琵琶湖河川事務所>

- ・ 取組方針（案）は、提示した内容で承認されたので、（案）を取らせていただく。

議題 4. 構成機関による主な取組内容について

●土砂災害リスク箇所について

<大津市>

- ・ 高精度な地形情報を用いた抽出により土砂災害リスク箇所は既指定区域数に対して約2割増加する見込みとのことだが、調査を進めても指定や整備が進まない状況である。リスク情報を公表することは重要であると思うが現実的に対応していくことが可能なのか。また、優先順位をつけられるのか、進め方について教えて欲しい。

<滋賀県>

- ・ 高精度な地形情報を用いた抽出作業の後、現地調査を含めた詳細な基礎調査を実施し、必要な区域について指定を行っていくことになる。この区域指定は、主に避難を目的としており、ソフト対策のためのものである。ハード対策は、土砂災害危険箇所を対象に、重点的に保全すべき対象等を勘案しながら整備を進めていく。

●水位予測について

<大戸川ダム工事事務所>

- ・ 琵琶湖河川事務所では、洪水予報の高度化の推進で6時間先までの水位予測を提供することとなっているが、県管理の大戸川での予測時間はどのようになっているのか。ダム管理や施工を行う上で水位予測情報は有益である。

<滋賀県>

- ・ 大戸川においても水位予測の計算は6時間先まで行っているが、一般には公表していない。

<大戸川ダム工事事務所>

- ・ 洪水予報の精度はどのように考えればよいのか。これまでの経験で2時間程度先までは精度がある程度確保されていると感じている。

<滋賀県>

- ・ 雨の状況により刻々と予測が変化するため一概には言えない。

●マイ・タイムラインについて

<琵琶湖河川事務所>

- ・ しがマイ・タイムラインは著作権フリーとのことであるが、自由に使ってもよいのか。

<滋賀県>

- ・ 必要な方がダウンロードして自由に使っていただきたい。

<琵琶湖河川事務所>

- ・ 琵琶湖河川事務所においても地域の方々にマイ・タイムライン（逃げキッド）の作成体験をしてもらっているが、地域では同じものを使用するほうが良いと考えられるので、連携していければと思う。

議事 5. その他情報提供

●大戸川ダムおよび大戸川について

<甲賀市>

- ・ 5月の信楽でのイベントにより交通渋滞が発生した。工事が進めば工事車両の通行も見込まれると思われるので、県道栗東信楽線と付替県道大津信楽線との接続について、地域住民の利便性を維持した接続を早期に実現するようにお願いしたい。
- ・ 河川整備計画の見直しにかかわる大戸川の河川改修の今後の見通についてご説明頂きたい。令和4年度に予備設計、令和5年度に詳細設計をしていただけると聞いているが、それ以降の見込みはどのようなになっているのか。

<大戸川ダム工事事務所>

- ・ 県道栗東信楽線と付替道路大津信楽線との接続については、ルートの検討を行っているところであり、道路管理者の滋賀県、甲賀市と相談しながら進めていきたい。

<滋賀県>

- ・ 大戸川ダム上流部の完成断面での河川整備は大戸川ダムの完成後となるが、ダム完成までに時間を要する中、平成25年台風による災害などを踏まえて、段階的な整備が必要と考えている。下流の大津市域で大戸川の改修も進めており、ダム本体の進捗等も踏まえて段階的な整備について検討を進めているところであり、何年度にどうするということとは言えないが、河川整備計画に位置付けるよう進めてまいりたい。

以 上